T.Miki

# THE NIIGATA JUMP STAKES　第27回 新潟ジャンプステークス（J・GⅢ）

| | 1着 | 2着 | 3着 | 4着 | 5着 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　賞 | 30,000,000円 | 12,000,000円 | 7,500,000円 | 4,500,000円 | 3,000,000円 |
| 付加賞 | 490,000円 | 140,000円 | 70,000円 | | |

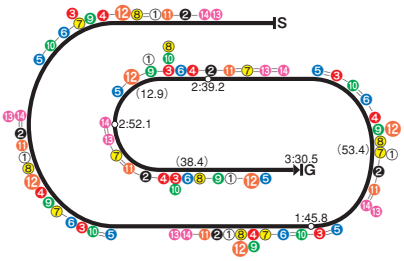
レース映像はコチラでご覧いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　3歳58*ロ4歳以上60*ロ、牝馬2*ロ減、J・GⅠ競走1着馬2*ロ増、J・GⅡ競走1着馬1*ロ増

2025.8.16　新潟　晴・良　芝3250㍍　（混合）

| 着順 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム（着差） | コーナー通過順位 | 平均1ハロン | 馬体重（増減） | 単勝オッズ | 調教師 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ⑫ | インプレス | 牡6 | 60 | 小牧加矢太 | 3:30.5 | 8-6-2-2 | 13.0 | 530(＋6) | 2.0① | 佐々木晶三(栗東) |
| 2 | ⑨ | サイード | 騸6 | 60 | 小坂忠士 | 1 | 6-6-3-4 | 13.0 | 506(＋4) | 6.1③ | 角田晃一(栗東) |
| 3 | ① | ヒートオンビート | 騸8 | 60 | 石神深一 | 1½ | 10-9-3-3 | 13.0 | 476(±0) | 3.6② | 青木孝文(美浦) |
| 4 | ⑥ | ローディアマント | 騸5 | 60 | 伴　啓太 | 1½ | 4-4-8-6 | 13.0 | 484(＋4) | 31.0⑦ | 尾関知人(美浦) |
| 5 | ⑤ | マイネルエール | 騸6 | 60 | 大江原圭 | 2 | 1-1-1-1 | 13.0 | 454(－6) | 36.9⑧ | 蛯名利弘(美浦) |
| 6 | ⑧ | ドゥラモンド | 牡7 | 60 | 坂口智康 | 6 | 8-8-5-5 | 13.1 | 502(＋2) | 59.5⑩ | 手塚貴久(美浦) |
| 7 | ② | フェーレンベルク | 牡5 | 60 | 高田　潤 | 2 | 11-11-10-10 | 13.1 | 484(－8) | 28.6⑥ | 千葉直人(美浦) |
| 8 | ④ | スコラーリ | 牡6 | 60 | 上野　翔 | 5 | 6-5-9-9 | 13.2 | 486(＋2) | 10.2④ | 萩原　清(美浦) |
| 9 | ⑪ | ハーツシンフォニー | 騸8 | 60 | 森　一馬 | クビ | 12-12-11-11 | 13.2 | 482(－2) | 111.1⑫ | 辻　哲英(美浦) |
| 10 | ⑩ | ホッコーメヴィウス | 騸9 | 60 | 難波剛健 | 5 | 3-3-5-7 | 13.2 | 476(＋2) | 14.2⑤ | 清水久詞(栗東) |
| 11 | ③ | フレッチア | 牡10 | 60 | 小野寺祐太 | 5 | 2-2-5-7 | 13.3 | 500(＋6) | 87.5⑪ | 木村哲也(美浦) |
| 12 | ⑬ | エコロマーベリック | 騸5 | 60 | 水沼元輝 | 1½ | 14-13-13-13 | 13.3 | 490(＋4) | 254.4⑭ | 岩戸孝樹(美浦) |
| 13 | ⑦ | アサクサゲンキ | 騸10 | 60 | 西谷　誠 | 3 | 5-9-12-12 | 13.3 | 472(－2) | 39.3⑨ | 四位洋文(栗東) |
| 14 | ⑭ | ブルメンダール | 牡7 | 60 | 黒岩　悠 | 大差 | 13-13-14-14 | 13.8 | 472(＋8) | 231.9⑬ | 国枝　栄(美浦) |

単勝⑫200円(1人気)　複勝⑫110円(1人気)　⑨130円(3人気)　①130円(2人気)　枠連⑥-⑦380円(1人気)
馬連⑨-⑫440円(1人気)　ワイド⑨-⑫200円(1人気)　①-⑫230円(2人気)　①-⑨380円(3人気)
馬単⑫-⑨630円(1人気)　3連複①-⑨-⑫640円(1人気)　3連単⑫-⑨-①1,970円(1人気)




上り1マイル：1:44.7　　上り：800㍍ 600㍍ 51.3 - 38.4

## アラカルト

- 小牧加矢太騎手はホッコーメヴィウスで制した24年に続く新潟ジャンプS2勝目。JRA重賞は本年初勝利、通算2勝目
- 佐々木晶三調教師は新潟ジャンプS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算52勝目。この勝利により史上8人目、現役では4人目となるJRA全10場重賞制覇を達成
- キズナ産駒はJRA重賞通算44勝目
- 6歳馬の勝利は23年サクセッションに続く通算5回目
- ワイド200円、馬単630円、3連複640円、3連単1,970円は各式別における本競走の最低払戻金額
- 非当選馬　1頭(ヒルズカーン)

# インプレス *Impress*

牡　黒鹿毛　2019.3.24生
北海道千歳市　社台ファーム生産
馬主・前田幸治氏　栗東・佐々木晶三厩舎
馬名意味・印象付ける、感動させる

ベアトリスⅡGB系　F5-d

| | | |
|---|---|---|
| キズナ<br>青鹿毛　2010 | ディープインパクト<br>鹿毛　2002 | サンデーサイレンスUSA |
| | | ウインドインハーヘアIRE |
| | キャットクイルCAN<br>鹿毛　1990 | Storm Cat |
| | | Pacific Princess |
| ベアトリスⅡGB<br>Beatrice<br>鹿毛　2010 | Dr Fong<br>栗毛　1995 | Kris S. |
| | | Spring Flight |
| | Brangane<br>鹿毛　1994 | Anita's Prince |
| | | Boskovice |

5代までのインブリード：Hail to Reason S５×M５

## INTERVIEW

東礼治郎場長（社台ファーム）

### 新潟コースの実績から期待は高かったです

セリで高評価をいただきデビューを楽しみにしていた１頭とあって、オープンクラス入りの際は安堵しました。障害戦での快進撃にも、その素質を見抜き導いてくださった厩舎のチーム力を強く感じます。今回は、23年新潟記念を出走馬中、最速の上がりで３着、新潟障害戦２勝の実績からも期待は高かったです。佐々木調教師の記録達成に関われたことも嬉しいです。

### 父キズナ

北海道新冠町　株式会社ノースヒルズ生産　中央、仏14戦７勝(日本ダービー$^{G\text{I}}$、大阪杯$^{G\text{II}}$、京都新聞杯$^{G\text{II}}$、ニエル賞・仏$^{G2}$、毎日杯$^{G\text{III}}$)、最優秀３歳牡馬、16年から供用。24年日本リーディングサイヤー、23、24年日本２歳リーディングサイヤー〔代表産駒〕**ジャスティンミラノ**(皐月賞$^{G\text{I}}$、共同通信杯$^{G\text{III}}$、日本ダービー$^{G\text{I}}$２着)、**ソングライン**(安田記念$^{G\text{I}}$２回、ヴィクトリアマイル$^{G\text{I}}$、富士Ｓ$^{G\text{II}}$、1351ターフスプリント・沙$^{G3}$、ＮＨＫマイルＣ$^{G\text{I}}$２着)、**アカイイト**(エリザベス女王杯$^{G\text{I}}$)、**ナチュラルライズ**(東京ダービー$^{J_{\text{m}}\text{I}}$、羽田盃$^{J_{\text{m}}\text{I}}$、京浜盃$^{J_{\text{m}}\text{II}}$)、**ディープボンド**(阪神大賞典$^{G\text{II}}$２回、フォワ賞・仏$^{G2}$、京都新聞杯$^{G\text{II}}$、天皇賞(春)$^{G\text{I}}$２着３回、有馬記念$^{G\text{I}}$２着)、**シックスペンス**(中山記念$^{G\text{II}}$、毎日王冠$^{G\text{II}}$、スプリングＳ$^{G\text{II}}$)、**バスラットレオン**(ニュージーランドトロフィー$^{G\text{II}}$、ゴドルフィンマイル・首$^{G2}$、1351ターフスプリント・沙$^{G3}$)、**クイーンズウォーク**(金鯱賞$^{G\text{II}}$、ローズＳ$^{G\text{II}}$、クイーンＣ$^{G\text{III}}$、ヴィクトリアマイル$^{G\text{I}}$２着)、**マルターズディオサ**(チューリップ賞$^{G\text{II}}$、紫苑Ｓ$^{G\text{III}}$、阪神ジュベナイルフィリーズ$^{G\text{I}}$２着)、**アスクワイルドモア**(京都新聞杯$^{G\text{II}}$)、**ジューンテイク**(京都新聞杯$^{G\text{II}}$)、**ショウナンザナドゥ**(フィリーズレビュー$^{G\text{II}}$)、他に重賞勝ち馬多数

### 母ベアトリスⅡGB

仏、独、トルコ、北米14戦４勝(国際イスタンブールトロフィー・トルコ$^{G3}$、シュヴァルツゴルトレンネン・独$^{G3}$、ラカマルゴ賞・仏Ｌ２着、サブロネッツ賞・仏Ｌ２着、ヘルツォークフォンラティボルレンネン・独$^{G3}$３着)、15年輸入、20年死亡

ビュブリス(16 牝父ヴィクトワールピサ)中央５戦０勝、地方21戦０勝
ビビットラブ(17 牝父ダイワメジャー)中央３戦０勝、地方11戦４勝
エコロナデシコ(18 牝父ジャスタウェイ)中央３戦０勝、地方36戦１勝
**インプレス** 本馬(19 牡父キズナ)中央17戦４勝(尼崎Ｓ、兵庫特別、アザレア賞、新潟記念$^{G\text{III}}$３着)、障害８戦５勝(新潟ジャンプＳ$^{J\cdot G\text{III}}$、ペガサスジャンプＳ$^{OP}$、中山グランドジャンプ$^{J\cdot G\text{I}}$３着)
獲得総賞金171,402,000円
ツァウバークライス(20 牝父オルフェーヴル)中央４戦０勝

### 祖母ブランガーン Brangane

アイルランド産　独、スイス、チェコ、スロヴァキア６勝
**ベルコーレ** Belcore(99 牡父Saumarez)独、仏５勝(ミュラーブロート大賞・独$^{G2}$、ユングハインリッヒガーバルシュタープラー社賞・独Ｌ３着)
ベラジアコンダ Bella Giaconda(01 牝父Goofalik)独、伊、仏４勝
**ベアトリスⅡGB**(10 前出)

## 持ち前の平地力も活かし障害重賞初Ｖ

暑さがピークを迎える時間帯はレースを休止する「競走時間帯の拡大」にともない、今年の新潟ジャンプＳは昨年同様、16時55分発走の第９競走として行われた。重賞初挑戦の中山グランドジャンプで３着に食い込んだインプレスと、障害へ転向してから３戦２勝、平地時代には目黒記念を制した実績を持つヒートオンビートが人気を二分、重賞で２戦連続２着のサイードが一角崩しの筆頭格と目されたレースは、結果的にもその３頭が上位を独占。１番人気の支持を集めたインプレスが勝利を飾り、管理する佐々木晶三調教師に「ＪＲＡ全10場重賞制覇」の快挙をプレゼントした。

R.Kaji

夕方の柔らかい日差しが注ぐもとでゲートが開くと、マイネルエールが横一列の先行争いから抜け出してレースを先導。外回りコースを使用する１周目のスタンド前では縦長の隊列が形成され、インプレスの小牧加矢太騎手は同じ勝負服のサイードをマークするように中団を進む。ヒートオンビートもその直後につけ、上位人気の３頭は接近したポジションで仕掛けのタイミングを窺った。

２周目の向正面に差し掛かると、小牧騎手がいち早く進出を開始。あわせて動いたサイード、ヒートオンビートを引き連れ、大逃げを打ったマイネルエールに迫っていく。４コーナーで前を射程に収めたインプレスは直線の最終障害を飛越後、食い下がる逃げ馬を競り落として先頭へ。背後のヒートオンビートを突き放すと、差し返す形で２着に追い込んだサイードに１馬身差をつけてゴールに飛び込んだ。

キズナ産駒の本馬は平地時代に４勝を記録、新潟記念３着の実績も持つ。昨年６月に障害へ転向すると、３戦目の初勝利を皮切りに３月のペガサスジャンプＳまで４連勝、新星出現と注目された。一気呵成の戴冠を狙った中山グランドジャンプは３着に敗れたものの、この日は持ち前の平地力もアピールして初の勲章を獲得。再び頂点の舞台に挑む秋に向け、リスタートの一歩を踏み出した。